

L2 VPN Gateway (冗長)

L2GW冗長機能概要(L2TPv3の場合)

- L2トンネルセッションをMaster GW/Backup GWとそれぞれ確立し、Master/Backupは拠点ルータが決定する
- L2TPv3のkeepaliveによりセッション監視を行い、断を検知するとCPEで切り替える。切替にはSLIメッセージを利用
- MAC学習テーブルはL2冗長機能で同期
- 切替り時は、新Backup側GWの上位リンクを強制ダウン。更に新Master側で、同期したMACをsrc MACに設定したパケットをL2 SWに送信し、L2 SWのMACテーブルを強制変更する

